

様式第4号その①（第6条関係）

令和4年 4月 4日

宗像市長 伊豆美沙子様  
（宗像市議会議長経由）

議員名 伊達正信

政務活動費収支報告書

宗像市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定により、別紙  
のとおり 令和3年度政務活動費収支報告書を提出します。



令和3年度政務活動費収支報告書

議員名 伊達 正信

1 収入

政務活動費 264,000 円

2 支出

(単位：円)

項目	領収書額	政務活動費報告額
研修開催費	0	0
調査研究費	15,971	15,971
資料作成及び資料購入費	0	0
広報及び広聴費	349,360	248,029
人件費	0	0
事務所費	0	0
合計	365,331	264,000

3 残額

0 円

4 添付書類

領収書等証拠書類

(様式1)  
令和3年度 政務活動費明細書

No	内容	項目	費目											(単位:円)		
			旅費	講師謝金	出席負担金	印刷製本費	図書購入費	備品購入費	消耗品費	使用料	郵送料	手数料	賃金	その他	領収書額	政務活動費報告額
1	3月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				91,630									91,630	73,304
2	6月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140									74,140	59,312
3	9月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				74,140									74,140	59,312
4	12月議会報告書印刷代	広報及び広聴費				109,450									109,450	56,101
5	視察旅費(熊本県)	調査研究費	15,971												15,971	15,971
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合 計			15,971			349,360									365,331	264,000

研修開催費		
調査研究費	15,971	15,971
資料作成・資料購入費		
広報及び広聴費	349,360	248,029
人件費		
事務所費		
合 計	365,331	264,000

視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 伊達正信

項目	<input type="checkbox"/> 1 研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2 調査研究費 <input type="checkbox"/> 3 広報及び公聴費																																		
名称	田んぼダムの取組について																																		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(                 )																																		
日程	令和 3年 11月 4日(木) ～ 令和 3年 11月 4日(木)																																		
時間	13:30 ~ 15:30	場所	※ひとよし土地改良区事務所2階会議室 ※人吉市鬼木地区田んぼダム現地視察																																
概要	<p>令和2年7月に発生した豪雨災害において、その後人吉市が策定した復興計画と災害に負けない安全・安心な地域づくりについて、現地視察を含め視察研修した。</p> <p>◆2020年7月3～4日にかけての降水量 単位:ミリ 気象庁のアメダスでの観測</p> <table border="1" data-bbox="432 1173 1444 1568"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>積算値</th> <th>1時間の最大値</th> <th>24時間の最大値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>芦北町</td> <td>465.5</td> <td>86.5</td> <td>425.5</td> </tr> <tr> <td>水俣市</td> <td>513.0</td> <td>81.0</td> <td>474.5</td> </tr> <tr> <td>山江村</td> <td>468.5</td> <td>76.5</td> <td>453.0</td> </tr> <tr> <td>球磨村</td> <td>476.0</td> <td>83.5</td> <td>455.5</td> </tr> <tr> <td>人吉市</td> <td>420.0</td> <td>69.5</td> <td>410.5</td> </tr> <tr> <td>湯前町</td> <td>497.0</td> <td>67.0</td> <td>489.5</td> </tr> <tr> <td>天草市牛深</td> <td>471.0</td> <td>98.0</td> <td>428.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>◆人吉市の概要</p> <p>熊本県の南部、人吉盆地の西南端に位置し、南は鹿児島、宮崎両県に接しており、熊本、宮崎、鹿児島との3都市へ約1時間でアクセスできる位置にある。</p> <p>○人口: 令和3年9月末現在15,329世帯31,194人</p> <p>○名産: 球磨焼酎(米焼酎)、鮎(尺アユ)、国宝青井阿蘇神社、くま川くだり、菌床きくらげ</p> <p>○特徴: 九州山地の連山に囲まれた盆地で、市域の面積は210、55平方キロメートル、その内森林が159、46平方キロメートルを占め、市の中央部を日本三急流のひとつ・球磨川が東西に貫流し、さらに、南北から多くの支流が本流である球</p>			地点	積算値	1時間の最大値	24時間の最大値	芦北町	465.5	86.5	425.5	水俣市	513.0	81.0	474.5	山江村	468.5	76.5	453.0	球磨村	476.0	83.5	455.5	人吉市	420.0	69.5	410.5	湯前町	497.0	67.0	489.5	天草市牛深	471.0	98.0	428.0
地点	積算値	1時間の最大値	24時間の最大値																																
芦北町	465.5	86.5	425.5																																
水俣市	513.0	81.0	474.5																																
山江村	468.5	76.5	453.0																																
球磨村	476.0	83.5	455.5																																
人吉市	420.0	69.5	410.5																																
湯前町	497.0	67.0	489.5																																
天草市牛深	471.0	98.0	428.0																																

磨川に注ぎ込んでいる。気候は、内陸性気候に属し、寒暖差が激しく、濃霧がよく発生する。

○庁舎：平成28年4月の熊本地震により旧本庁の耐震強度が下がり崩壊の恐れが高まったことから、分庁舎にて業務遂行している。新庁舎での業務開始は、令和4年5月からの予定である。

◆ひとよし土地改良区事務所内研修

※「ひとよし土地改良区」の概要

- 1, 設立 平成20年7月23日認可
- 2, 関係市町村 人吉市、錦町、山江村
- 3, 受益面積 田449ha 畑179ha 計628ha
- 4, 組合員数 1, 396人
- 5, 役員・総代 理事15名、監事2名 総代47名
- 6, 職員 事務職員2名
- 7, 管理施設 頭首工、農道、用排水路、ため池、用排水機場、樋門
- 8, 取り組み事業 多面的機能支払 団体営農業水路等長寿命化・防災減災事業  
小水力発電事業

※ひとよし土地改良区理事長 高野和夫氏のあいさつの後、以下について説明があり、その後質疑・応答がなされた。質問事項は宗像市職員からあらかじめ提出していたものを、それぞれの担当部署より回答がなされた。内容は別紙の通り。

その後、各自が新たな質問を行い回答を頂いた。⇒各自の所感参照。

※令和2年7月豪雨に伴う流域治水・防災等について(説明)

- ①令和2年7月豪雨災害について(人吉市 防災・安全課)
- ②田んぼダムの計画と現状について(球磨地域振興局 農地整備課)
- ③田んぼの学校 in ひとよし(人吉東小学校5年生 83名)
  - ① 「田んぼダム実証実験事業」に関するせき板の絵描き・色塗り
  - ② 農村体験学習(田植え・稲刈り)

◆「田んぼダム実証実験事業」鬼木地区(33.45ha)現地視察

水田の排水樹に流出量を調整するせき板を設置して、水田の雨水貯留効果をフル活用する取り組み。

従来の貯水量⇒10cm 程度      田んぼダム⇒25cm 程度

写真参照

<p>所 感</p>	<p>◆繁華街も被災したため、建物が取り壊され更地になったり、手つかずの被災建物にロープが張られたりと、災害の大きさがうかがえた。</p> <p>◆ひとよし土地改良区事務所内研修 質疑</p> <p>※質問 災害発生時における議員の行動について</p> <p>回答 通行不能状態の道路での交通誘導や被災状況等の情報提供を頂いた。 このことは人吉市議会災害対応指針が制定されていることによるものと思います。</p> <p>◎人吉市では平成28年4月に発生した熊本地震の体験を踏まえ、大規模災害時における議会としての災害対応指針と人吉市議会災害対応連絡会議設置要綱を定め、平成28年12月20日から施行している。本市においても同様の指針制定等が必要ではないかと考える。</p> <p>※質問 災害時、避難行動要支援者等の救済はどのようなものであったか。</p> <p>回答 各地区の自主防災組織は、全く機能しなかった。組織のなかった地区の区長が機転を利かし住民を誘導し、被災者はなかった。</p> <p>◎昔から日本に伝わる、向こう三軒両隣、を生かした小さな単位の共助の仕組みが必要と考える。</p> <p>※質問 各地から到着する救援物資の受け入れの配送拠点について、どのような状況であったか。</p> <p>回答 スポーツパレスを拠点としていたが、全く足りず運送会社の倉庫を丸ごと借用したが、そこもすぐにいっぱいとなり、第2倉庫を借用した。</p> <p>◎本市は「道の駅むなかた」が救援物資受入や配送の拠点となるのかなと思うが、仮設倉庫等、すぐに設置できる体制づくりが必要では。</p> <p>※その他 蒸し暑い中、避難所の体育館に急速空調設備を設置していただいたとのことだったが、本市においても地域の防災拠点である学校の体育館への空調設備設置は必須であると考え。また、防災ラジオを3,600世帯へ配布した。全戸配布予定との事、本市の自主防災組織における電話連絡網は時代にマッチしていないと考える。防災ラジオ等の検討が急務である。</p> <p>◆鬼木地区での田んぼダム視察</p> <p>◎「田んぼの学校 in ひとよし」事業の中で、田んぼダム用の門型のせき板に小学生の絵が描かれていた。(写真参照)また、そのせき板は、県木が支給され、福祉施設の方々が門型に加工し、小学生が絵を描くという仕組みで、みんなで防災という意識づけになると思う。</p> <p>また、田んぼの学校では、稲刈り等も実施しており、災害で被災した街の復興の明るいもしびとなったのでは。</p> <p>◎畔の高さが低いところもあり均一でないため、畔の高さのかさ上げ等が必要である。従来のせき板に田んぼダム用のせき板が規格等でなじまない分もありそうだ。田んぼのみでなく、様々な治水の仕組みや流水の鈍化等、総合的な対策が必要では。</p>
------------	---







視察・研究研修会・会議等概要報告書

宗像市議会議員 伊達正信

項目	<input type="checkbox"/> 1研修開催費 <input checked="" type="checkbox"/> 2調査研究費 <input type="checkbox"/> 3広報及び公聴費		
名称	八代市における令和2年7月豪雨災害について		
分類	<input checked="" type="checkbox"/> 視察 <input type="checkbox"/> 研究研修会 <input type="checkbox"/> 会議 <input type="checkbox"/> 報告会 <input type="checkbox"/> その他(                      )		
日程	令和 3年 11月 5日(金) ~ 令和 3年 11月 5日(金)		
時間	10:00~12:00	場所	八代市に関わる球磨川沿い被災現場各地 ■坂本支所、旧坂本支所、中津道地区、道の駅坂本、段・小川地区
概要	<p>◆八代市の概要</p> <p>県都・熊本市の南約40kmに位置し、面積は約681km<sup>2</sup>、人口は124,286人(2021年10月14日現在)。藩政時代から行われてきた干拓事業により、形成された広大な平野と山・川・海と多様で豊かな自然に恵まれており、特に一級河川の球磨川、氷川のもたらす豊富で良質な水の恩恵を受け、全国有数の農業生産地、県内有数の工業都市として発展してきた。交通の便もよく、九州縦貫自動車道八代インターチェンジや南九州西回り自動車道日奈久インターチェンジを有し、平成16年3月には九州新幹線新八代駅―鹿児島中央駅間も開業した。</p> <p>◆降雨等の状況</p> <p>令和2年7月3日夜から降り出した雨は、線状降水帯を形成して降り続き、7月4日までの約24時間で球磨地域において、約500mm前後の大雨を記録し、八代市の坂本町などをはじめ、人吉市、球磨村などで未曾有の大災害となった。</p> <p>◆八代市の被害概要(令和3年11月5日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■死者 4名</li> <li>■行方不明者 1名</li> <li>■全壊 147棟</li> <li>■半壊 162棟</li> <li>■橋梁流失(坂本・深水・鎌瀬橋)</li> <li>■被害総額(R3年9月30日現在)約237億円</li> </ul> <p>◆「球磨川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要</p> <p>～流域のあらゆる関係者が協働し、まちづくりと連携した治水対策の推進～</p> <p>○令和2年7月豪雨により甚大な被害が発生したことを踏まえ、球磨川において</p>		

様式2

	<p>は、国、県、市町村等が連携し、被災した箇所、河道掘削、堤防整備、輪中堤・宅地かさ上げ、遊水池等の取り組みを集中的に実施することにより、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対して越水による氾濫防止※(人吉市の区間等)、家屋の浸水防止※(中流部)など、流域における浸水被害の軽減を図る。</p> <p>※従来から検討してきた貯留型ダム並びに再開発後の市房ダムによる洪水調節の効果を含む。</p> <p>○令和3年出水期に向けて、浸水被害箇所等の堆積土砂の撤去やタイムラインの改善等を緊急的に実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策。</li> <li>■被害対象を減少させるための対策。</li> <li>■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策。</li> </ul>
<p>所 感</p>	<p>現在の球磨川の水面から、国道や県道等を含め、民家等生活が営まれているところまでの高さがかなり離れているので、民家等を飲み込むほどの水が押し寄せたとはとても信じられない気持ちだ。しかし、今でも鉄橋は無残な姿のまま残り、がれき等が廃墟と化した建物に横たわっている光景を見ると、あらためて、とてつもない水害の現実があったことを思い知る。球磨川は、両端とも急斜面の山となっており、短時間に大量の雨が降れば、保水する暇は無く、またその地形から支流が数多くあり、そこから流れ込む水も大災害となった要因のように思う。</p> <p>復興事業の中で、宅地のかさ上げが行われるとのことだが、大雨の時に水が押し寄せることを想定してのことで、そのような時に人々の胸中はいかばかりかと思うと胸が痛む。200世帯以上の方々が、坂本町を去られたとのことだったが、察するにはあまりある。ここの町のような山間部で家が点在しているところでは、人吉市が取り組んでいる防災ラジオの配布が有効と考える。本市においては4万世帯以上の民家があるので全戸配布は難しいと思われるが、高齢者世帯や障がい者世帯、またひとり親世帯等への限定配布も考えられるのではないかと考える。専門技術者の育成が必要となるが災害状況を的確に知るうえで、ドローンの有効活用に注視すべきだと考える。</p>

①

# 領 収 証

伊達正信 様

¥ 91,630-

但 しだて正信通信印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 3 年 4 月 19 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊  
**ニシム**

TEL (0940) 36  
FAX (0940) 36



取扱者印



②

# 領 収 証

伊達正信 様

¥ 74,140-

但 しだて正信通信印刷代

上記金額正に領収致しました

令和 3 年 7 月 13 日

内 訳	
現金	円
小切手	円
手形	円

福岡県宗像市田熊  
**ニシム**

TEL (0940) 36  
FAX (0940) 36



取扱者印



3

# 領 収 証

伊達正信 様

¥ 74,140-

但 し 代 7 正 信 通 信 印 刷 代

上 記 金 額 正 に 領 収 致 し ま し た

令 和 3 年 10 月 25 日

内 訳	
現 金	円
小 切 手	円
手 形	円

福岡県宗像市田熊  
**ニシム**  
 TEL (0940) 36  
 FAX (0940) 36



取扱者印

4

# 領 収 証

伊達正信 様

¥ 109,450-

但 し 代 7 正 信 通 信 印 刷 代

上 記 金 額 正 に 領 収 致 し ま し た

令 和 4 年 1 月 14 日

内 訳	
現 金	円
小 切 手	円
手 形	円

福岡県宗像市田熊六  
**ニシム**  
 TEL (0940) 36  
 FAX (0940) 36



取扱者印

## 政務活動費旅費計算書

### 《調査研究費の旅費請求に使用する》

請求者氏名	伊達 正信	用 件	人吉市 田んぼダムの取組 (水害防災)
日程	11月4日～11月5日(2日間)		八代市 災害時の危機管理
用務地	熊本県 人吉市・八代市		
交通手段	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 <input checked="" type="checkbox"/> 私用車 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
ホテル代	一泊朝食付き・振込手数料(220円/4人)込	10,555円	
控除額	朝食代(900円)	-900円	
高速料金	4,780円/4人(古賀IC～人吉IC)	1,195円	
高速料金	4,000円/4人(八代IC～古賀IC)	1,000円	
駐車場使用料	500円/4人(ホテルサン人吉)	125円	
車賃	車走行距離 432 ㎞/4人 × 37円	3,996円	
合計		15,971円	

1. 宗像市職員旅費運用による。
2. 請求者氏名、日程、用務地、用件、交通手段に必要事項を記入し事務局へ提出する。

# ご利用明細票

お取扱日	店番	お取引内容
03-11-09	■■■■	通帳送金
記号	番号	
*****-	■■■■	
取扱番号	お取引金額	
N025	*42,000	
	残高	
	■■■■	
送金料金 *220円		
振込予定日 03-11-09		
タテマサノフ		

ホテル代

ご利用いただきましてありがとうございました。  
—— ゆうちよ銀行 ——

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

## 領 収 書

料金所 人吉  
TEL 0966-22-5126  
高速道路は便利でお得なETC  
あなたもETCをつけてみませんか！

21年11月 4日 11時52分

車種 普通

通行料金 ¥4,780-  
(現金)

—入口料金所— 古賀  
通行料金は消費税10%対象です  
西日本高速道路株式会社  
大阪府大阪市北区堂島1-6-20  
取扱番号 203 - 03690855 - 00

5-2

請 求 書

宗像市議会 様

---



観光庁長官登録旅行業第1650号

ラド観光 株式会社 福岡支店

〒 812-0011

福岡市博多区博多駅前3-10-24博多駅前ビル1F

TEL:092-421-1111

FAX:092-421-1112

総合旅行業務取扱管理者 担当

携帯 TEL: 092-421-1113

行 先 : 人 吉

旅行期間 : 2021/11/04(木) ~ 2021/11/05(金)

ご請求金額	¥42,000
-------	---------

この度はご利用いただきまして、ありがとうございます  
恐れ入りますが、下記代金につきましては 2021年11月15日 までにご入金のほどお願い申し上げます

内 容	単 価	数 量	金 額
宿泊代(11/4) ホテルサン人吉(1名部屋・1泊朝付)	10,500	4	42,000
ダマサノフ様・コバヤシエイジ様・インダカズヨシ様・キウユウジ様			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0
			0

備考

ご請求総額	¥42,000
ご入金済額	¥0
今回ご請求金額	¥42,000

\*お振込ご希望のお客様は下記口座までお願い申し上げます。  
その際、誠に恐縮ですがお振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。  
また、振込金受領書をもって当社の領収証と代えさせていただきます。

ご利用 年月日	ご利用内容	ご請求金額 (円)	摘要
2111 5	9200-0101-2929-3054 (ナンバー 1122) ETC通行料金 ** ご利用金額小計 **	4000 4000	ETC 八代 古賀 普通車



請求明細書  
BILL・RECEIPT

 **ホテルサン人吉**  
HOTEL SUN HITOYOSHI  
株式会社 プラチナ・コーポレーション  
〒868-0005 熊本県人吉市上青井町166  
TEL (0966) 22-7741(代)

お名前 GUEST NAME						発行日 ISSUED
石田 和代志 様						
お部屋番号 ROOM No.	ご到着日 ARRIVAL	ご出発 DEPARTURE	ご人数 PERSONS			21. 11. 05
509	21. 11. 04	21. 11. 05	1			
日付 DATE	明細 DESCRIPTION	数量 QNTY.	料金 CHARGES	ご入金 CREDIT	備考 REMARKS	
11. 4	駐車料	1	500	500		
			ご請求額 AMOUNT DUE	0		

ありがとうございました。またのご利用をお待ち申し上げます。

Thank you for your stay with us. We are looking forward to serving you again.

※印の品目は減税対象(8%)品目です。

領収書  
BILL・RECEIPT

 **ホテルサン人吉**  
HOTEL SUN HITOYOSHI  
株式会社 プラチナ・コーポレーション  
〒868-0005 熊本県人吉市上青井町166  
TEL (0966) 22-7741(代)

収入 印紙	日付 (DATE)	21. 11. 05	
	御芳名 (NAME)	石田 和代志 様	
	御利用金額 (TOTAL)	¥500-	10%対象 8%対象

上記金額正に領収いたしました。

received.

問

幼稚園や保育園等は各地域から子どもが集ってくる。小学校へ就学し、クラスに入ると、それまで親しかった友達がいない場合が考えられる。特別な支援を要する子どもは変化に弱い。パニックとなる場合も想定される。就学前までに、加配の先生も含め、家庭で小学校入学時に想定されることを子どもに周知させて欲しい。(不登校のきっかけとならないように)

部長  
回答

いろんな機会を通じて、そういったことを行っていきたいと思います。

◎私の質問を聴いて頂いているのかなと疑問を抱きました。特別な支援を要する子どもたちには、特段の配慮が必要です。

◎私は究極の政治目的は、家庭愛和にあると思っています。家庭が平穏で愛に満ちた中で子どもたちがすくすくと育てば、どんなにか素晴らしいことでしょう。一人で二役を演じる母子家庭のお母さん。厚生労働省の2019年「国民生活基礎調査」の資料によりますと、パート・アルバイトがなんと、43.8%にも上るそうです。生活基盤の安定を図ることが家庭教育の充実にも繋がると思います。母子家庭の正規雇用への就業支援を強く執行部へお願い致しました。

女性活躍推進をよく耳にしますが、母子家庭の生活基盤安定なしには女性活躍は語れないと思っています。

まさのぶ さんぽみち  
正信の散歩路

市議会議員に初当選(平成24年10月)した年の12月、当時「保幼小連携」で全国的に有名でありました、佐賀市教育委員会の橋口指導主事様(女性)に「保幼小連携」について教えて欲しいと一筆啓上致しました。なかなか返事が来なくてダメだったのかなと思っていた1月16日に忘れもしませんが、「会いましょう」と連絡が入り天にも昇る嬉しさでした。

一人で行くのはもったいないと思い当時の神谷議員(現議長)を始め6人で佐賀市に向かいました。佐賀市では「保幼小連携」と呼ばれていますが、他の子どもに関することも含め、3時間みっちり勉強させていただきました。早速、教えていただいたことを生かし、3月議会で「保幼小連携」について一般質問しました。当時は宗像市では、「小中一貫教育」に力を入れておられましたが、生意気にも小中だけをつなげては、整合性が取れないと、いっぱしのことを申し上げた事を恥ずかしく思います。その後「子ども育成課」で「スムーズな小学校入学に向けて」と題し、保幼小連携のリーフレットを作っていただきました。

ところが、「議会事務局」を通さず、直接佐賀市教育委員会にアポを取ったということで、ひどく職員さんにお叱りを受けました。しかし、職員さんの懐の大きさにも助けられ、新人議員を育ててやろうと支援いただき、今の私があるのは議会事務局の方々の支援あったからこそと感謝しています。

また、議会事務局の支援により、議会の「二代表制」が保たれているとも思っています。



心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

だて正信通信

令和3年6月 vol.34

編集・発行

だて まさのぶ  
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



5月2日から行われた新型コロナワクチン接種予約につきましては、サーバーダウン等により、大変な混乱を招き心よりお詫び申し上げます。議員として容量の事前チェックができませんでしたことを猛省致しました。

市担当職員を始め関係者においては、眠れぬ夜を過ごし、胃の痛む思いで当日を迎えられたのかなと思う次第です。ようやくコロナワクチン接種も比較的スムーズになってまいりました。早く平穏な日常になることを、心より祈念申し上げます。

全国的傾向ではありますが、本市におきましても、児童・生徒の不登校数が増加しています。県からの支援を受けながら学校としましては全力で対策に追われているところです。私も微力ではありますが、学校の支援に一般質問等を通し、尽力致したいと思います。

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

# 令和3年6月議会報告

一般質問（6月15日）

項目1 子どもの成長過程に思う。

**問** 不登校の児童・生徒が急増しているが、その原因をどのように分析しているか。また、今後の対応策は。

**部長回答** 様々な原因が絡み合って不登校になるケースが多くある。第1番目が無気力、不安、それから生活リズムの乱れや非行。親子の関わり方、いじめを除く友人関係問題等。対応として、児童・生徒一人一人の原因の把握に努め、教師による登校支援、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等との連携支援。教育サポート室エール（適応指導教室）等、子どもたちに寄り添った支援をこれまで通り実施してまいりたい。

◎家庭教育力の低下が問われています。私は不登校の問題を考えるとき、家庭内に入り込んでいく施策も必要ではないかと考えています。本市では県の助言等もあり、「マンツーマン方式」という制度を取り入れて不登校対策に用いています。この施策は不登校生徒と最も信頼関係ができている教師が担当者となり、心の専門家といわれるスクールカウンセラー等の支援を受けながら「支援チーム」をつくり対処するものです。

**問** 早期に不登校児の芽を摘むという意味で、大島学園の個人カルテを、不登校になる恐れのある子どもたちを未然にキャッチするカルテに改良したものを応用できないか。

**部長回答**

マンツーマン方式と呼ばれる支援計画において、個票を作成して支援を行っている。今後もこの方式に基づいて、不登校及び不登校兆候児童・生徒に対する支援を行ってまいりたい。

◎不登校の原因は多岐に渡ります。不登校児を無くすには、私は先ずは幼児期からの家庭教育が大事だと思っています。「子ども育成課」では「保幼小連携」の中で、小学校入学までに子どもにしつけてもらいたいことを、先生用と保護者用にリーフレットをつくり配布しています。とても丁寧にわかりやすく描いてあります。全てのご家庭に実践していただきたいと強く思います。

私は、赤間小学校の信号機の所で、毎朝「朝の交通誘導」をさせていただいていますが、中には毎朝「お早うございます。いつもありがとうございます。」と言って私の前を通り過ぎる女の子や、直立不動で「お早うございます。」と深くと頭を下げる子どももいます。ご家庭で感謝の気持ちをしつけていただいているのかなと嬉しくなります。余談ではありますが、途中までお父さんに連れられて来る男の子がお父さんと別れると、お父さんの方を振り返り、また振り返りしながら左手にお菓子を持って私の前を通過していつていきましたが、ある日突然、私の「お早う」に呼応して「お早うございます。」と朝の挨拶が返ってきました。もう左手にはお菓子はありません。少し遅れて校門に向かっていたその子に手を差し出しますと、すぐに私の手を握りしめました。とても暖かい手でありました。私はこの子は家庭愛に包まれながら立派に成長していくと確信しています。それは、お父さんとの間に深い愛情があることを感じているからです。子育てには、深い愛情と正しいしつけが大切です。

北九州市が家庭教育に特化した施策を行っています。子育て親育ちのための「北九州市 子どもを育てる10か条」と「北九州市 子どもの誓い10か条」です。私は議場で、本市独自のものを作り、小学校1年生が幼稚園

や保育園等の参観日に行って（12月か1月ごろ）年長児や保護者の前で朗読してもらいたいと申しました。とてもシンプルで心にすっと入り込む文言となっています。それをご家庭の壁に貼って、子どもさんと読みながら就学前までに書かれていることをできるようになってもらえたら、どんなにか素晴らしいと思います。文言の募集は保護者向けはPTAで募集し、子ども向けは生徒会で考えて欲しいなと思います。そして、これを「子ども育成課」の作ったリーフレットへ結びつけていけたらとも思っています。

※少し内容を紹介します。

◆食事が楽しみな家庭にしよう（保護者用）

◆まず親が、きちんと実行社会のルール（保護者用）  
（親の背中を見て子は育つと申しますから）

◆家族にも言います「ありがとう」と「ごめんなさい」  
（子ども用）

◎余談ですが、私も一つ提案です。

◆子どもの前では、夫婦喧嘩はしない

**問** 外国では、どうしても学校にいけない子どもの受け皿として、民間施設による「フリースクール」というのがあり、そこに通学すれば出席扱いにできる外国もある。フリースクールについて教育長のお考えを、お示し願いたい。

**教育長回答**

不登校児童・生徒一人一人の状況に応じて多様な教育の機会を提供するという点は、フリースクールも居場所づくり、支援の一つの選択技になると思います。ただ、個々のフリースクールの内容や運営状況を的確に把握した上で、教育、人格形成を行う施設として妥当かどうかなど個別に判断する必要があると考えます。

## 総務常任委員会 第42号議案 工事請負契約の締結について

◎城山中学校の改築工事の入札が終わり、議会の議決を求めるものです。

◆落札金額 31億9千190万円（税込み）4階建て

◆工事請負人 安藤ハザマ・占部（地元業者）・ビルディング Dr、（地元業者）・大建設  
建設工事共同企業体（3企業体が応札）

※今回の改築工事の事業者選定はデザインビルドでの公募型プロポーザル方式（設計・施工が同企業体で企業提案型）を採用して行われました。近年、公共工事もこの方法が主流となっています。メリットとしましては、設計する際に自社の施工技術を最大限に生かせる。また、設計者の意図を正確に施工の際に理解してもらえる。それから設計段階で施工がおおよそわかるので部材等の準備ができ、工期の短縮化も可能となる。デメリットとしては、施工しやすいように設計等がなされた場合、発注者がこのようなことを把握しづらい。したがって発注者側に専門的な知識を持った職員がいることが大切です。宗像市の職員の中には1級建築士もおられます。

◆令和4年度から工事着工・令和5年度校舎等完成（当初令和7年4月開校となっていました。令和6年3月ごろ、もしかしたらであります。卒業生も新校舎に入れるかもしれません。）

◆今回の特色は、コミュニティスクールの推進ということで「地域連携室」が充実しています。出光佐三翁等、子どもたちが地域の歴史に触れる機会が増えそうです。また、地元産の広葉樹を確保されて仕上げに使用されるとのことです。夢広がる校舎です。みんなで応援しましょう。

### 一般質問 項目2 大島の観光による活性化について

問

沖ノ島の灯台は、以前国産初の1等レンズを備えていた。歴史的価値のあるレンズを観光資源として活用するため、パネル等で大島交流館に展示できないか。

また、大島には宗像特産水産物「黒アワビ」の種苗放流のための中間育成施設がある。（3cm程までに成長させて約12万個を市内海域に放流）その内のいくらかをさらに成長させ、来島観光客に食材として提供できないか。

部長  
回答

御提案のパネル等を大島交流館に設置することで、新たな客層の大島への誘致につながる可能性も考えられることから、島内の方や関係機関、関係部署などとの協議を進めてまいりたい。アワビの食材提供については、大島アワビ、そういうふうな形で食材の提供であったり、レシピの提供、こういったものができれば、進めてまいりたい。



旧沖ノ島灯台国産初1等レンズ  
高さ:5.15m 重さ:13屯



宗像特産水産物  
黒アワビの稚貝

# 一般質問通告書

宗像市議会議員 様

宗像市議会議員（15）番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	2	受領日時	令和3年5月11日 8時30分
項目1	子どもの育ちに関わる、家庭・学校・社会の果たす役割について		
テロップ	子どもの成長過程に想う		
	<p>私が小・中学生の頃の子育ては、両親ともに日々の暮らしに追われ、愛情は受けて育つものの、げんこつなどは当たり前の時代であった。時代とともに子育ての様子も随分と変化してきたが、子育ての基本は和合の心をもった家庭愛和にあると考える。「三つ子の魂百まで」ということわざが示すように幼児期における家庭教育は、その後の子どもの生き方に大きな影響を及ぼすと考えられる。しかし、家庭教育力の低下が問われる時代、幼児教育・学校教育の果たす役割に加え、社会全体で子どもを育てることの重要性を感じる。子育てしやすい環境を整え、社会の宝である子どもたちがすくすくと育つようお願い、以下について質問する。</p> <p>(1) 幼児期について</p> <p>①家庭教育力の低下が指摘されているが、その原因をどのように捉えているか。</p> <p>②市長のマニフェストの中で「子どもを産み育てたいと思ふまちにしたい。特に女性の働く環境づくりを切り開きたい。」とあった。昨今、女性のひとり親家庭が増加している中で、ひとり親家庭の経済基盤の弱さが子育て環境の悪化につながっているのではないかと危惧する。市長の見解は。</p> <p>(2) 小・中・義務教育学校について</p> <p>①義務教育学校「大島学園」で行われている小規模校の有利性を生かした、「個人カルテ」の活用状況は。</p> <p>②全国的に不登校の児童・生徒が増加傾向にあるが、本市の現状は。</p> <p>③全国的に特別支援学級に在籍する児童・生徒数の増加が顕著であると思うが、本市の現状は。</p> <p>④コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）において、「地域とともにある学校づくり」を進める上で教育委員会の基本的な考えを伺う。</p>		
項目2	大島の観光による活性化について		
テロップ	大島の観光による活性化について		
	<p>平成29年7月に「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が世界文化遺産として登録された直後は、大島交流館のオープン等もあり、観光客も急増したが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、観光客は減少傾向にある。そこでアフターコロナ時代を見据え、以下のことを質問する。</p> <p>(1) 沖ノ島の灯台は、以前国産初の一等レンズを備えていた。その歴史的に価値あるレンズが宗像を離れ、千葉県の大吠埼灯台の灯台資料展示館に展示され、訪れる観光客の人気を博していると聞く。その価値は計り知れないものがあり、観光資源としては超一級品とを感じるが、呼び戻すには相当な困難があるものと考えられる。そこで、その雄姿を観光資源として活用するため、パネル等で大島交流館に展示することで、大島のにぎわい創出につなげられないか。</p> <p>(2) 宗像の特産水産物としてアワビの種苗の放流がなされているところだが、大島にはアワビの中間育成施設があり、6月から翌年の3月まで育成がなされている。他の自治体で、フグの養殖やサザエの養殖場等を視察したが、胸躍る気持ちとなり、本市における養殖事業構想の夢が広がる。このアワビの中間育成施設は、もし見学可能ともなれば観光客の心を捉えると考える。大島観光の目玉とできないか。</p>		

◆他の自治体で、園バス内において、悲惨な子どもの事故が発生したが、行政職においては、様々な行政に関わる施設において、かすかな異常をも感じ取れる、確かなスキルをさらに身に付けていただきたい。

## 宗像市一般会計補正予算(第5号)約19億2千万円

◆緊急経済支援事業費(内、事業継続応援金)：約4億2千万円

昨年度実施した小規模事業者(人数撤廃)への追加支援金です。  
対象：令和元年度より、令和2年度の7月～9月までの内、ひと月でも30%以上減少した中小事業者に20万円支給。

◆学校・公共施設の手洗器の自動水栓化：約2千万円

私は3月議会で学校のトイレの手洗い場の自動水栓化を提案していましたが、その時は良い回答は得られませんでした。なぜ提案したかと言いますと、学校は子どもたちに正しい手洗いを推奨するため、絵図等を用いて指導しています。当時、幼稚園児だった私の孫も、けなげに母親の教えの通り指等、手洗いを行っていました。不特定多数の児童・生徒が触った水道の水栓を、手洗い後ひねるとなると、指導との整合性が取れないと感じていたからです。

◆保育所ICT化補助金：1千万円

私は、以前一般質問の中で保育士の多忙軽減のためにアプリ等による保育所のICT化導入を提案していましたが、今回、市内全認可保育所と認定こども園の保育に関わる部門の先生方に、概ね2人に1台のタブレットを支給できるよう予算組しました。出欠確認や保護者との情報共有に役立て、保育士の多忙軽減にも役立てることとしました。

◎本市は小中学校、義務教育学校の2学期始業を予定通り8月27日から始めました。保護者の中には、コロナ感染を危惧され通常通りの日程に違和感を持たれた保護者も多かったようです。教育委員会は保護者や子どもたちに、家族の中で体調不良者がおられたら子どもの登校を控えるようにとか、いくつかの要請をしました。学校側としましては、検温・消毒はもちろんのこと、万全を配し子どもたちを迎え入れました。私が驚いたのは、8月30日と31日に全小中学校と義務教育学校の先生937人と学童保育所の指導員100人にPCR検査を実施されたことです。(県下初)「保護者や児童・生徒の不安解消につなげたい」とのことでした。ひとりも陽性者がおられなかったとのこと、先生方の日ごろの生活のあり様が目に浮かびます。私は、27日の近い日に庁議において激しい議論が戦わされたのかなと思い、無理を承知で(PCR検査費用は補正予算に計上されていません)補正に計上されていた、「顔認証出退勤システムの導入」に絡めて質問しましたが、途中で委員長からストップがかかりました。しかし、教育長の熱い想いの答弁を聞くことができ、また最終局面で市長の英断があったこともわかり、委員会には禁じ手で申し訳ない気持ちでしたが、教育委員会と学校の万全を配して、子どもたちへ教育を担保したいという熱い情熱を感じることができ、すがすがしい気持ちで市役所を後にすることができました。時刻は、午後8時を過ぎていました。

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

# だて正信通信

令和3年9月 vol.35

編集・発行

だて まさのぶ  
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

FAX 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。緊急事態宣言下の中で伊豆市長の、他市での飲食が問題となりましたが、私ども最大会派「宗像志政クラブ」では、このことについて協議したことを代表の私と幹事長の吉田議員とで市長室へ出向き苦言を呈し、市民や議会への説明と謝罪を求めた申し入れ書を市長へ手渡しました。市長は深く反省され、8月27日に議会で説明と謝罪をなされ、HP、広報誌等を通し、市民へ謝罪されました。私たちの会派としましては、市長は十分な説明責任を果たされたと判断しましたが、市長はその後自らの給与を減額されました。市民に対するさらなる反省を表明されたと私どもは理解いたしました。しかし、宣言下での飲食は、気のゆるみとしか言いようがありませんので、市長の身近にいるものとして、私からも市民の皆様へお詫び申し上げます。心からの謝罪を機に、コロナ禍の中でより一層の市政運営に頑張ってくださいと思っています。

# 令和3年9月議会報告

一般質問（8月31日）

## 項目1 子どもの通学時の安全確認について

**問** 各校区でボランティアによる児童・生徒への見守り活動がなされているが、その状況と課題は。

**部長回答** 地域の見守り隊の皆様による温かい言葉かけやまなざしを受け、子どもたちの朗らかな挨拶が習慣となっているとも伺っております。課題としましては、高齢化の進行や後継者不足により活動人数が減少している地域などがあるようでございます。

◎赤間宿通りから赤間小学校へ向かう途中に、辻田橋という橋がありますが、子どもが渡るには大変危険に私は感じています。見守り隊の方がいませんので、私は小中学校とコミュニティ運営協議会で協力していただき、見守り隊の募集を行ってほしい旨を要望しました。

**問** 赤間地区コミュニティ運営協議会、青少年育成部会（日高洋輔部会長）が「見守り推進事業」の中で取り組んでいる通学路のハザードマップを他の地域にも広げてもらえないか。

**部長回答** 赤間地区の取組みは市内でも先進的というか、かなり詳しく分かりやすく作っていただいていることに大変感謝しています。子どもたちの安全強化を図るためには大変大きな意義があると考えているところです。

◎このハザードマップは、子どもたちに寄り添った気遣いの言葉が並び、温かい気持ちが伝わってくるマップとなっています。

それから、城山中学校へ進学して、自転車通学する子ども

たちのために地域環境部会（篠原富樹部会長）では、赤間小学校5・6年生を対象に「自転車交通安全教室」を開催しています。これは、赤間小学校の保護者の方からの提案で始まった事業です。

城山中学校の先生や宗像警察署の方、もちろん赤間小学校の先生も来られ熱の入った指導等が行われています。ここで指導を受けた子どもたちは、中学校で自転車通学する折に、きっとこの日のことを思い出し、心にブレーキをかけることでしょう。



ハザードマップ



自転車教室

## 令和2年度決算認定について

◎9月議会は前年度の予算執行に伴い、それが適切に執行されたのかどうかを審議する議会でもあります。私は予算・決算第1特別委員会に属して、主に一般会計につきまして所管部ごとに今回も前年同様2日間に渡り審議されましたが、最終日は8時近くまで質疑等が行われました。私が主に指摘したことは次の通りです。

◆財政運営については基金残高にみられるように安定した運営がなされ評価する。しかし、真逆から考えると新型コロナウイルス感染拡大の中、国や県の援助の届かなかった職種やあるいはそのような会社に勤める市民の方、また親元を離れた学生等はアルバイトの道を閉ざされた学生も多かったのではないかと危惧する。商工会等と協力してアンケート調査を実施するなど、きめ細かな市民救済策が欲しかった。（アンケート調査につきましては検討するとの執行部からの回答がありました。）また、財政課長より支援が必要と思われる時には躊躇なく財政出動するとの力強い言葉もありました。

◆男女共同参画推進において、行政職の部長級に複数の女性部長級が誕生することにより、違和感なく市政運営が男女共同のものとなると考える。

◆特別な支援を要する子どもたちへの教育環境や療育環境は民間施設等との連携も含め、他の自治体に誇れる高い水準にあると考える。今後ともさらなる高みを目指し、頑張っていたきたい。

◆都市建設部において、道路施設整備課や維持管理課など、改善提案書が集中する中、こまめに対応していただいている事を、高く評価する。

# 一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員（15）番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	2	受領日時	令和3年7月27日 15時9分
<b>項目1</b>	子どもの通学時の安全確保について		
<b>テロップ</b>	通学時の安全確保について		
	<p>本年6月28日、千葉県八街（やちまた）市において、下校途中の小学生の列にトラックが突っ込み2人の尊い命が奪われた。また、2019年には滋賀県大津市でも、保育園児の列に車が突っ込み2人の園児の死亡と保育士を含む14人の重軽傷者が発生するという、痛ましい交通事故が発生した。繰り返される悲惨な交通事故等から子どもたちの命を守るため、本市の取組状況について以下のとおり質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>（1）学校での交通安全に関する指導状況は。</li><li>（2）各校区でボランティアによる児童・生徒への見守り活動がなされているが、その状況と課題は。</li><li>（3）保育所の園外保育時における交通安全確保の状況は。</li><li>（4）通学路には地域や保護者から改善要望が出ている箇所等もあると思われるが、その課題をどのように捉えているか。</li></ol>		
<b>項目2</b>	ドローンの利用促進を		
<b>テロップ</b>	ドローンの利用促進を		
	<p>東京オリンピックの開会式で、1,824台のドローンによるパフォーマンスに心驚かされた。次世代の自治体経営においてドローンの果たす役割は多大なるものがあると予感する。そこで、本市のドローン活用について以下のとおり質問する。</p> <ol style="list-style-type: none"><li>（1）ドローンの保有数と活用目的は。</li><li>（2）ドローンの活用について今後の計画は。</li></ol>		

## 総務常任委員

◆49号議案から51号議案までは、学童保育所の指定管理者の指定についての議案でした。私は委員長職を務めているため質疑ができません。

今まで公募施設につきましては、南北エリアに分けた応募でしたが、今期から南北エリアを統合しての応募となりました。私は3月議会で「学童保育事業」は競争するようなものではないので、統合するよう申ししていました。競争は指定管理者の選定委員会ではなされるものと思っています。4社が応札しましたが、前期に続き「シダックス大新東ヒューマンサービス(株)」が指定管理者となりました。

また、吉武地区コミュニティ運営協議会と赤間地区コミュニティ運営協議会が非公募にて前期に続き指定管理者となりました。赤間地区におきましては、指導員の確保が課題のようです。



# まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

7月下旬のある日の朝、郵便受けを開けるとそこには一冊の本と一通の手紙が入っていました。封筒の中には、不登校の子どもと向き合った母親の想いが自筆で便箋二枚に綴られていました。私の配布した不登校に関する6月議会報告書を読まれてペンを取られたとのことでした。不登校は、高校1年生の夏休み明けから始まったそうです。原因もわからず、怒ったりなだめたり、あきらめたり、いつ終わるとも分からない毎日。泥の中をさまよっているような日々だったそうです。ちゃんと勉強してみようと思って数冊買った本の1冊がこの本でしたと書いてありました。半信半疑で始めたコンプリメントがいつの間にか確信に変わり、お子さんが再び登校するようになった様子が綴られてありました。末筆に「もし、私が変わることができたように、私たち親子がこの本のおかげで救われたように、どなたかお一人でもお役に立てればと思い、無作法ながら送らせていただきました。」と思いの丈が綴られてありました。

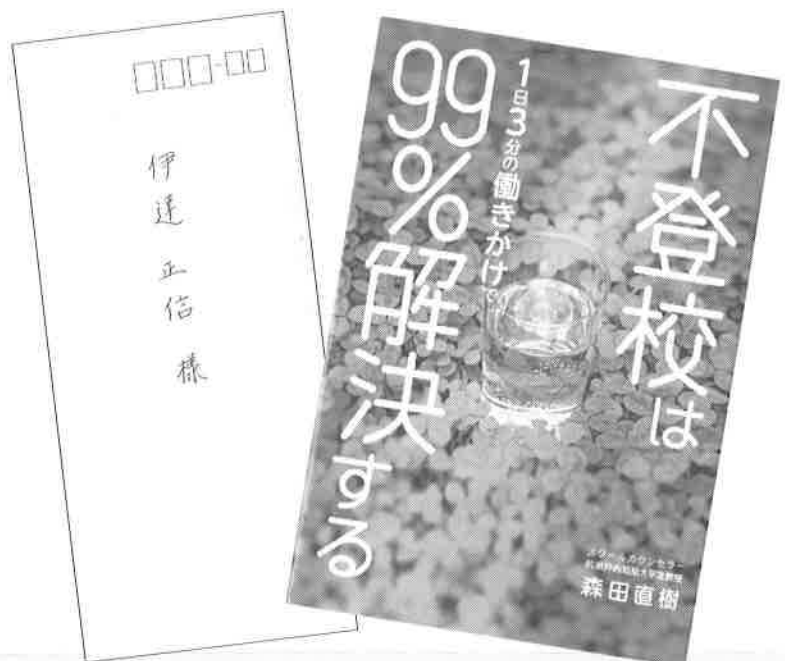
何とかお母さんの想いを生かしたいと思い、教育委員会へ出向きこの出来事を話しました。現在はコロナ過で難しいと思いますが、この内容についての講演会が開催できないか提案しました。例えば午前中、小学生の保護者、午後中学生の保護者というようにしたら1日が有効に使えると思います。

少し内容を紹介しますと、不登校の真の原因は自尊感情の低さによる「自信のなさ」なのです。不登校のきっかけとなった「ストレス」を乗り越える自信を失い登校ができなくなっているのです。コンプリメントトレーニングでは、この自信を「自信の水」とし、不登校を「自信の水不足の状態」ととらえています。自信の水は活動の燃料です。子どもの心のコップに自信の水を留めてあげれば動き出します。とありました。また、作者は学校以外に教育の場はないと考えています。とありました。(異論はあるかとは思いますが)そして、人まかせにせず、親が我が子の心のコップに自信の水を満たし、学校に戻していかなければいけない。

また、原因探しをしてはいけないとも書いてありました。

◆ 話は変わりますが、私の6月議会報告書を読まれた玄海地区の方から(元先生)「読ませていただきました。大変感動しました。嬉しくなって電話しました。」とお電話がありました。

また、明日から頑張ろうと生きる力が漲った次第です。



問

アセットマネジメント計画の改修計画に沿った整備では、複数の学校体育館の空調整備設置には相当の年数を要し、学習環境の公平性という点から考えると、市民の理解が得難いと思う。整備年数を区切り、一定期間の中で整備することが必要ではないか。市長の英断をもって、学校体育館の空調整備に踏み出していただきたい。最後に市長の考えを、お聞かせ願いたい。

市長  
回答

学校体育館の空調設備については、教育面、そして地域の安全・安心の担保の確保から、かねてよりその重要性を強く感じてきたところです。議員も言われたように、線状降水帯をはじめとする昨今の異常気象を踏まえると、体育館の空調設備の必要性がより近年増しており、議員の方や地域の皆さんから体育館への空調設備の声の高まりには、私も同感するところです。つきましては、教育環境の平等性や国の財源措置などに鑑み、庁内で協議を重ねた結果を踏まえ、今回の城山中学校の体育館の改築に合わせて空調を整備することを決断します。そして、城山中学校を手始めに、有利な国の財源を最大限活用するために、緊急防災・減災事業債の事業期間である令和7年度をめどに、市立学校全体の体育館空調設備設置を進めたいと考えます。年数はかかるとは思いますが、必ず体育館の空調整備に向けて、取り組んでまいります。

◎市長は英断をもって、はっきりと明確に回答してくださいました。市長でないと決断出来ない大きな事業であります。あらためて、最大会派「宗像志政クラブ」の考えを、市長が汲んでくださったと感激しました。吉武・赤間・赤間西地区コミュニティ運営協議会様を始め、地元の方々の頑張りに感謝申し上げます。

まさのぶ さんぼみち  
正信 散歩路

伊豆市長は市長就任以来、教育行政において、学校の普通教室・特別教室等へのエアコン設置や児童・生徒一人一台のタブレット導入のほか、最近ではプール事業の民間施設利用等を行ってこられました。また、福岡教育大学敷地内に知的障がいを持った子どもたちのため、県立特別支援学校を誘致されましたが、このことは市長が県議会議員時代から信念を持って進めてこられた偉業であると、私は高く評価しています。この誘致により本人、ご家族はもとより、本市の特別支援教育の充実にも大きく貢献するものと思われま

す。このように伊豆市長は未来の担い手である子どもたちの学習環境を向上させるため、学校施設の充実を多岐に渡り進めてこられました。これからも、「教育のまちむなかた」というブランド力を高めるためにも、さらなる施策に期待するところであります。



エアコン設置完了にともない、小学校を訪問された伊豆市長

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

だて正信通信

令和3年12月 vol.36

編集・発行

だて まさのぶ  
宗像市議会議員 伊達 正信  
〒811-4147  
宗像市石丸2丁目5-15  
携帯電話 090-1082-4641  
FAX 0940-35-2922  
E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp  
公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。新型コロナウイルス感染症もようやく下火となりましたが、また新しいオミクロン株の登場で、予断を許さない状況でもあります。

行政職にありましては「新型コロナワクチン接種推進室」を始め、関係者の皆さんの心身ともに健康状態が心配であります。11月ごろまで頑張ればという目標が、3回目接種（政府は5歳以上の子どもから接種予定）が決定し、また新たな難題等に取り組まなければならなくなりました。市民のために頑張るのが行政職であることは間違いありませんが、身近にいる者としましては、人として、その心労を思わずにはられません。今回の新型コロナウイルス感染症は、私たちの生活と心に様々な変化をもたらしました。「日日是好日」心豊かに、前を向いて頑張りましょう。

# 令和3年12月議会報告

一般質問（11月30日・一般質問初日一番目）

## 項目1 学校を安全安心の地域拠点に

◎城山中学校が、令和6年1月完成を目標に建て替わります。学校・地域・保護者等の学校関係者の意見を設計に反映するため、各代表者が参加して城山中学校設計検討会が逐次開催されましたが、体育館に空調設備が当初からは設置されない設計となっていたため、城山中学校校区にある3つのコミュニティ運営協議会等から、子どもたちの教育環境の向上と合わせ、地域防災の拠点である城山中学校の体育館の空調設備設置を強く市へ要望されました。

私ども会派「宗像志政クラブ」ではこの事に関し議論しました。その中で学習環境の公平性と地域バランスを考えた場合、城山中学校の体育館のみに空調設備設置では市民の理解が得難いという考えから、市内21か所の学校の体育館全部に空調設備設置要望という方向でまとまりました。会派代表である私が12月議会の一般質問という形で、市へ質問することになりました。



城山中学校新校舎イメージ図（変更となる場合があります。）

問

城山中学校の新体育館は拡張性を確保しているとのことだが、空調設備の後付けと、当初より設置する場合とでは、費用面はどのように見込まれるか。

部長  
回答

壁等の解体であるとか、配管工事、それから電源の増強工事など、建設当初より設置する場合に比較しても、追加となる項目が出てくる。

◎体育館の空調設備には、1件当たり1億円以上の費用が見込まれるそうです。多額の費用が掛かることから、市では当初は設置せず、後年度いつでも設置できるように拡張性を持たせた設計としていました。

問

今年の7月静岡県熱海市では、土石流が発生し、多くの人命が失われた。その際、小中学校に500人余りの住民が避難した。熱海市は観光地でありホテルがたくさんある。コロナ過でもあり、ホテルの客室に余裕があったことから、地元ホテル側から避難者受け入れの申し出があったと聞く。ホテル並みの快適さとは言わないが、避難所は最低限の快適さが必要ではないか。避難所に空調設備がないとなると、たとえ避難指示が出たとしても特に高齢者は避難を躊躇するのではないか。いわゆる避難控えが発生する可能性がある。現在の状況では、このような状況が起こりえると考えますが、いかがか。

部長  
回答

避難控えについては、私どもも大変憂慮しているところだ。災害が起きた際には、市民の皆さんに避難することを躊躇しないよう十分周知を図りたい。

◎熱海市のホテルの方々がとられた行動は、困ったときはお互いさま、助け合おうという昔からの日本人の心が

伝わってきて、嬉しくなりました。私が小さい頃、私の暮らしていた村はどこも貧乏な家庭ばかりでした。母親から醤油がないからおじさんの家から借りてきてといわれ、恥ずかしい思いでおじさんの家へ行くと、優しい笑顔で、醤油を渡してくださったお婆さんの笑顔が蘇ります。

問

9月議会での岡本副議長の一般質問の中で、教育子ども部長より城山中の体育館の空調設備設置については、前向きな回答があった。議事録によると国の補助金についても、総務省の緊急防災・減災事業債での交付税措置が70%と回答している。国の方向性が決まり、財源措置が決まれば、教育委員会としては、前向きに考えることが定石ではないか。教育委員会としては現在どのような立ち位置に立っているのか。

部長  
回答

夏場の子どもたちの健康面を考えると、体育館空調は今後必要になってくるのかなと考える。多額の整備費用が掛かるので、国の財源の有効活用も当然考慮しなければならない。

◎岡本副議長（公明党）が9月議会で、このことについて一般質問されましたので、私は副議長室を尋ね、私どもの会派の意向を伝えましたところ、良いことですので進めてくださいといった意味のことを言っていただき感謝いたしました。

◎11月初めに、昨年7月に大水害があった人吉市・八代市へ視察に行きましたが、先方様の話の中で、避難所の体育館に避難者が詰めかけたが、とても蒸し暑かったそうで、急遽クーラーを設置して下さったとのことでした。これらのことから、避難所には空調設備は必須であります。

# 一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員 (15) 番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	1	受領日時	令和3年10月29日 8時30分
項目1	学校を安全安心の地域拠点に		
テロップ	学校を安全安心の地域拠点に		
<p>学校は、子どもたちの学びやであるとともに、住民の交流の場でもあり、地域の大切な拠点施設である。災害が発生、または発生が想定される際は、学校体育館が避難所の役割を果たすことになり、地域の安全安心につながっている。最近では、城山中学校や日の里中学校などの生徒が、避難所の運営側の視点から実質的な防災学習をしているということを知り、地域の安全安心の担い手として大変頼もしく感じている。このようなことから、子どもたちの教育環境の向上と併せて避難所としての機能を充実させることが、地域の安全安心の向上に資するのではないかと考える。</p> <p>そこで、宗像市の避難所の環境について、学校体育館を中心に以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 市内には37か所の指定避難所がある。避難者が利用する洋式トイレや空調設備の整備状況は。</p> <p>(2) 新しい城山中学校では、安全安心の地域拠点として、施設面で配慮していることはあるか。</p> <p>(3) 新しい城山中学校体育館には、空調設備の設置を見越した措置がなされていると聞く。将来における空調設備設置の見通しは。</p> <p>(4) 既存の学校体育館に空調設備を設置する場合、空調設備本体にかかる費用のほか、どのような追加費用が見込まれるのか。また、1校あたりどのくらいの費用を要するのか。</p> <p>(5) 1校の体育館に空調設備を設置した場合、子どもたちの学習環境の公平性や地域バランスを考えて、他の学校にも計画的な設置が必要になると考える。その場合、学校体育館の改修時期に合わせた設置が効率的と考えるが、アセットマネジメント推進計画では、学校体育館の改修はどのような計画になっているのか。</p>			

◎以前、永島勝次前商工会会長からコロナの影響を受けた事業者で公的援助の手の届かなかったところもあるのではないかと、市と商工会で協力してアンケート調査を実施できないかとの相談を受けていました。商工観光課に相談しましたところ、前向きのお話をしてくださいましたので、9月議会の予算・決算特別委員会でその旨を質問いたしましたところ、検討するとの回答がありました。また、財政課長からも支援が必要な時は躊躇なく財政出動するという力強い返答もありました。12月14日に市の情報発信の一つである、LINEで市内事業者向けのアンケート調査が実施されました。市長を中心に“和を以て貴しとなす”まさに、市民と一体となった「むなかた愛和」を強く感じた次第です。

## ◆総務常任委員会

### ■第80号議案 宗像市立へき地保育所の指定管理の指定について

大島の保育所は、対象年齢が2歳以上となっていますが、私たちの会派の石松修議員から2歳未満児も預けたいとの声を聴いている。実現に向けての検討はどのようになっているか。という質問がありました。年齢引き下げについては、違う方法も含めて検討したいという回答が執行部よりありました。課長のニュアンスから島民のニーズに鑑み、良い方向で結論が出ていくのかなどの印象を持ちました。

## ◆建設産業常任委員会

### ■第100号議案 宗像市大島観光休憩所条例を廃止する条例について

かんす海水浴場のそばにある休憩場を取り壊し、更地にします。跡地利用につきましては、民間によるいくつかの話はあるようです。シャワー室部分は防水工事を施して、残すことになっています。

## 視察報告

昨年7月、人吉市や八代市とその周辺の町村において、大水害が発生しました。私たちの会派「宗像志政クラブ」から小林議員、石田議員、木藤議員、そして私の4人で、11月4日～5日にかけて視察に行っていました。行政の方々と一緒に行きました。目的は、危機管理と防災のための「田んぼダム」についてです。

人吉市は、繁華街も被災していました。建物が取り壊され更地になったり、手つかずの被災建物にロープが張られたりと、災害の大きさがうかがえました。

「ひとよし土地改良事務所」という所で研修がありましたが、私も3点ほど質問しました。

◆質問 災害時における議員の行動について

回答：通行不能状態の道路での交通誘導や被災状況等の情報提供を頂いた。このことは、「人吉市議会災害対応指針」が制定されていることによるものと思われます。

◎本市でもこのような仕組みづくりが必要と思い、ただ今議会運営委員長に相談中です。

◆質問 災害時、避難行動要支援者等の救済はどのようなものであったか。

回答：各地区の自主防災組織は、全く機能しなかった。組織のなかった地区の区長が機転を利かし住民を誘導し、その地域では、被災者はなかった。

◎宗像市でも線状降水帯が発生する事態となりましたら、間違いなく釣川本流等、内水氾濫は免れないと感じました。昔から日本に伝わる、「向こう三軒両隣」を生かした小さな単位の共助の仕組みが必要と感じました。（議会で意見を申し上げました。）

◆質問 各地から到着する救援物資受け入れの配送拠点は、どのような状況であったか。

回答：スポーツパレスを拠点としていたが、全く足りず運送会社の倉庫を丸ごと借用したが、そこもすぐにいっぱいとなり、第2倉庫を借用した。

◎本市では、「道の駅むなかた」が防災拠点の一つとして、物資輸送拠点、災害復旧拠点、情報発信拠点等となり、県等と相互活用することとなっています。救援物資の集配拠点としては、他にも「JAむなかた」と「大規模災害時における物資集配拠点施設に関する協定」を結び、富地原ライスセンター等いくつかの施設が集配拠点となっています。

◎「田んぼダム」とは、大雨時に一時的に水田へ雨水を貯留させる効果を高める仕組みで、流出の時間を遅らせることにより、ピーク時の流出量を軽減する仕組み。

畔の高さが低いところもあり、かさ上げの必要がある。宗像の川の内水氾濫を防ぐには、田んぼダム等、様々な手法を組み合わせることが大切と感じました。二級河川（釣川等）は県の管轄のため、防災の大規模工事等は毎年のように、県にお願いしています。



田んぼダム用堰板



球磨川

## 本市の財政について

本市の財政は行政の努力と市民の協力もあり、現在のところ概ね良好な財政を維持しています。しかし、扶助費等の増加により「経常収支比率」が上昇しています。つまり、戦略的に自由に使えるお金が少なくなっているということです。首長選挙の時に立候補者が作るマニフェストは、戦略的に自由に使えるお金がないと、裏付けのない空手形とも言えそうです。この経常収支比率の中には国が決める「臨時財政対策債」が含まれています。これは元来、国が地方へ交付すべきお金が不足するため、一時的に地方で臨財債を発行するよう許可したものです。この元金は後年度、交付税の中に含んで財政措置されます。しかし、世界では認められていない禁じ手の赤字債です。

日銀は国債を市場から買い入れています。その金額は実に470兆円にもものぼります。日銀が買い入れた国債は、そのまま積みあがるだけで政府は放置しています。つまり、市場に日銀が買い入れた分だけお金が多く流通していることとなります。お金がだぶついた異常な状態だと思います。私はいつの日にか、インフレーションになるのではと心配しています。みんながお金がなく困っていてもお金は消えてはいないのです。国債が信用を失墜させたとき世界が、ハイパーインフレとなる？

この臨財債は国の借金を地方が肩代わりしているようなものですから、臨財債を除いた部分での「経常収支比率」も資料に並列して示して欲しいと質問しました。執行部の回答の中で臨財債のことを市民向けにわかりやすく説明するとのことでした。(約束していただいたわけではありません。)ぜひタウンプレス(5月1日号)を注視して下さい。

また、市は3月議会の補正の中で臨時財政対策債を約10億円、繰上償還して、市債残高を236億円(R2年度末)としました。これは将来の人口減等を見込んだ、早めの財政措置ではないかと私は思っています。

(市は市債の残高目標額を250億円としていますので順調のようです。)

◆繰上償還：市の借金を予定期日より早く返すこと。

## まさのぶ さんぽみち 正信の散歩路

近年、子どもへの虐待が多発しています。新聞、テレビ等を見るたび“なぜ”“どうして”と、思われる方も多いのではないのでしょうか。虐待する原因は様々です。私の家内が申した言葉が心に沁みました。「虐待する親は子どものころ愛を受けないうで育ったのかもしれないね。」

飯塚市が議員提案で、平成30年に制定した児童虐待防止等に関する条例「飯塚市の子どもをみんなで守る条例」の冒頭に下記のこと書かれています。

「もうやめて もうゆるして もうたたかないで そう思いながら命を奪われた子どもたちがいます。

～中略～ 子どもは親にとっての宝だけでなく、社会の宝、活力の源、未来への希望です。その子どもを守るのは、わたしたちおとなの責任です。全ての子どもたちが、虐待や育児放棄から守られ、愛される幸せを実感しながら成長できるように、市民みんなで、子育てしやすい環境をつくり、子どもの命と育ちと笑顔を守るため、この条例を制定します。みんなで子どもを守りましょう。」

本市では令和3年度から地域が学校経営に積極的にかかわる「小中一貫コミュニティスクール」を全学校に導入し、さらに開かれた学校像を目指すつもりでしたが、新型コロナウイルスの広がりで1年延ばしとなりました。昔は学校を中心に地域がかかわるコミュニティがあったと私は思っています。子どもの育ちには社会のかかわりは不可欠です。飯塚市が志すように子どもたちを、みんなで見守り育てる社会としましょう。

## 心豊かに生きるまち、宗像の創造

まさのぶ つうしん

# だて正信通信

令和3年3月 vol.33

編集・発行

だて まさのぶ  
宗像市議会議員 伊達 正信

〒811-4147

宗像市石丸2丁目5-15

携帯電話 090-1082-4641

F A X 0940-35-2922

E-mail: ganbari-kita@mx22.tiki.ne.jp

公式WEBサイト <http://datemasanobu.net/>



皆様こんにちは。新型コロナワクチン接種が5月15日(土)から順次始まる予定となりました。接種券送付も4月23日から始まる予定です。本市では「新型コロナワクチン接種推進室」をいち早く立ち上げ3月1日から特設コールセンターを設け市民の皆様への質問等に備えています。しかし、8万人もの人に接種するわけですから電話が繋がりにくいなど一時的な混乱があるのではないかと心配しています。時間帯等をお考えいただき、ご協力頂きたいと思っております。

1月18日に太ももが肉離れして、6週間ほどは無理のできない状態となりました。12月議会報告書が大幅に遅れたり、また配布できなかったところもありました。大変申し訳ございませんでした。

特設コールセンター ☎36-9827

(8:30分～17時・土日祝も対応)

接種券発送後は、当面8:30分～20時まで対応予定

◆「だて正信通信」は、WEBサイトにて他の報告も加えて掲載しています。インターネットにて「伊達正信」で検索し、正信通信欄をクリックして下さい。

# 令和3年3月議会報告

一般質問（3月3日）

**問** 環境美化活動の中で、ボランティア団体「クリーンアップむなかた」との取り組みがある。これまでの経緯とその効果について伺う。

**部長  
回答** 経緯については、平成10年に結成され、道路等でのポイ捨てごみ拾いや、毎週日曜日に、釣川河口と深浜海岸の漂着ごみを拾われている。効果として、海岸のごみ拾いだけでも、これまでに約3万2千袋のごみ収集実績があります。

◎この取り組みは赤間地区名残にお住いの松井大さんがアダプト制度を取り入れて作られたボランティア活動です。私も発足当時からお手伝いさせて頂いています。当時、松井さんが私に口癖のように言っておられた言葉があります。「自分たちの住んでいるところは自分たちで良くしていこうよ、いつでもきれいという宗像をつくろうよ」と熱く語っておられました。もう22年にもなるようです。最初、松井さんから支持された場所は、陵巖寺1丁目から三郎丸にかけてのところに三角地があり、不法投棄の山で悪臭がひどく、まさにごみのごみを呼ぶといった場所でした。民地ですので市では処理できません。所有者も宗像にはおられなかったこともあり、そのような状態になったようです。毎回作業中に悪臭に耐えられず、なんども吐きながらの作業となりました。また、いくら拾ってもきりがないので可燃物5袋、金物類3袋、ビン・ガラス類1袋になったらまた来週と決め、続けました。

そちらが一段落してから陵巖寺のJRと旧3号線の間  
の不法投棄の山に挑戦しました。そのうち石丸等も加え  
現在、4か所を受け持たせていただいています。ずいぶ  
んと作業は楽になりました。

決められたところに拾ったごみを置いておきますと、  
月曜日に市の方が回収して下さいます。市民協働の取  
組みです。しかし、話し合いの場が全くないのが気が  
かりです。仮に、発足当時60歳だった人は現在80歳  
を超えていることとなります。一緒に始められた方々は  
皆さん私と同じような、またそれ以上の苦労があつた  
と思えます。城西ヶ丘にお住いの「辻 衛」さんは、私  
とは違った違いのご苦勞をなさった方です。身体等  
でやむなく活動をリタイアされた方もおられるの  
ではないかと思えます。なんのねぎらいの言葉もか  
けてもらうことなく活動を停止された方があ  
るとしたらと思えますと、議場で思わず目頭が熱  
くなりました。市民協働とは何か 考えさせられ  
ます。

部長より意見交換の場は検討していきたいとの回答  
がありました。  
それから愛知県日進市が取り組んでいるアダプト  
プログラム（里親制度）の中で里親を辞退される  
方は、市へ里親辞退届（様式2号）を提出するこ  
とになっています。私は、諸事情でボランティ  
ア活動を辞退される方が、スムーズに活動を停  
止しやすい雰囲気を作るのも大切だと思  
っています。

◆アダプトプログラムとは 英語で養子縁組をする  
という意味で、住民、企業等が主体となつて、  
清掃、緑化等の美化活動を中心に、公共空間  
を我が子のように面倒を見る手法として制  
度化されたもの。

**問** 道路のアンダーパス等への落書きについて市の  
対応は。

**部長  
回答** 落書きを発見、もしくは外部から情報を提供  
された場合は、市が管理する施設の場合は警察署  
に被害届を提出し、その後、塗料等で上塗りす  
るなどの対応を行っています。

◎昨年、石丸区で市道の鉄柵に落書きがされてい  
た箇所を市の維持課に通報しましたところ、速  
やかに消していただきました。感謝です。し  
かし、落書きの多くは市以外が管理する施設  
です。赤間地区コミュニティ、地域環境部会  
では「ひとりチョボラ事業」の中で赤間地区  
内の落書きを消しています。他の地域でも  
そのような事業をコミュニティの中に組み入  
れていただければ宗像から落書きが無くなる  
のですが、、、。宗像は「人間尊重」とい  
う言葉を残された、人を愛してやまなかつた  
出光佐三翁の故郷でもあります。その出光  
佐三翁が礎を築かれた世界文化遺産があ  
ります。神宿る島、沖ノ島のあるま  
ちに、私たちは住まわせていただ  
いている。という考えもあつてよい  
のではないかと思います。そのよ  
うな、悠久の歴史ある宗像に  
ポイ捨てや落書きがあつては  
なりません。



姫路市のポスター「汚さないで」

# 一般質問通告書

宗像市議会議長 様

宗像市議会議員（15）番 伊達 正信

以下のとおり通告します。

発言順	2	受領日時	令和3年1月26日 8時55分
項目1	: 環境美化について		
テロップ	: 環境美化について		
<p>近年、マイクロプラスチック等による海洋汚染が社会問題化している。本市では海へとつながる釣川の清掃活動として「釣川クリーン作戦」をはじめ、市と民間ボランティア団体等との協働でポイ捨てのないまちを目指した啓発活動や、ポイ捨てされたごみの回収を行うなど環境美化に取り組んでいる。しかし、依然として不法投棄等、一部の心なき市民等によりポイ捨ては後を絶たない。</p> <p>全国には、ポイ捨て問題に特化したいわゆる「ポイ捨て禁止条例」を制定し、その中で具体的な対策等を示し、市民や事業所等と連携した活動を行っている自治体もある。本市では「save the sea」を合言葉に海の再生事業に取り組み、「宗像国際環境会議」を開催するなど、宗像の地から世界へと良好な環境保全に向けた活動を発信しているところである。このような現状に鑑み、美しい宗像市のまちづくりのため、以下のとおり質問する。</p> <p>(1) 道路周辺等のポイ捨て防止について</p> <p>①宗像市の環境美化活動の中で、ボランティア団体「クリーンアップむなかた」との取組があるが、これまでの経緯とその効果について伺う。</p> <p>②ポイ捨てをなくすには市民の意識向上が不可欠と思うが、具体策はあるか。</p> <p>(2) 自動販売機設置場所の空き缶等の散乱が目立つが、対策は。</p> <p>(3) コンビニエンスストアやファストフード店が販売する飲食物の容器や包装等の散乱が目立つ。店舗へのポイ捨て防止の協力要請等が大切と考えるが、どうか。</p> <p>(4) 海岸の漂着ごみの対策は。</p> <p>(5) 道路のアンダーパス等への落書きについて市の対応は。</p> <p>(6) 犬のふん害について市の対策は。</p>			





## 予算第1特別委員会

◎3月議会は、令和3年度の予算を審議する場です。私は今回一般会計を審議する予算第1特別委員会担当となりました。（予算第1特別委員会と予算第2特別委員会があります。1年交代です）2日間にわたり審議がありましたが、両日とも終了が19時30分頃となり、白熱した質疑・答弁が行われました。最終日に議員各自が予算案に対し、賛成、反対を表明後、行政へ要望や指摘を發します。私も賛成の立場から、様々なことに意見申し上げました。主なものは下記のとおりです。

- ◆国からのコロナウイルスに係る補助金を最大限に活かして欲しい。（市は地場産業の経営等を、様々な国からの補助金を駆使し、支援しています。また、例えばデジタル化によるテレワークの推進などコロナの影響がなくても、いずれは整備しなければならないものですので、この機会に国の補助金を活用するのは賢い方法です。）
- ◆女性（市職員）の感性を行政に活かすにはクオター制度を用いて複数の部長級の女性登用を目指すべき。（私は男社会からの脱却が、新しい活力ある社会を創ると思っています。）
- ◆行政は学童保育所の南北エリア分割による、お互いの競争を即していますが、学童保育事業は競争するようなものではないことを指摘し、統合するよう申しました。
- ◆各学校でタブレット端末等を用いたギガスクールが始まります。一人の子どもも取り残さないきめ細かな配慮を要望すると同時に、今の時代だからこそ、子どもたちに読書による創造力、また感性の豊かさを育ませ、生きる力を自然発生させるためにも、先生、子どもたち、学校司書との連携をもって読書活動の推進を、お願いしました。
- ◆令和7年4月に県立特別支援学校（知的障がい）が福岡教育大学内の敷地に開校します。福岡教育大学は全国屈指の特別支援教員を輩出している大学です。県立特別支援学校との連携により、知的障がいを持つ子どもたちによりよい療育の場が提供されると思います。この施設は、小学部から高等部までの編成です。知的障がいを持って生まれた子どもはその症状が現れた時から療育すれば、かなりの改善が見られます。  
そこで私は、就学前の子どもたちのために、のぞみ園や幼稚園・保育園、また民間施設等、幼児にかかわる機関と連携して障がいを持って生まれてきた子どもたちのために、支援して欲しい旨を申し上げました。